

## 介護保険が激変！

9.28集会報告

## ケアマネ締めつけ、認定引下げ、サービス「卒業」

### 多くの 介護職参加

九月二八日、介護福祉総がかり行動の主催で「これからの介護保険を考えるフォーラム」わがまち介護保険が激変！」が開かれました。一五〇人以上の方が来られ、資料や椅子が足りなくなり大慌て、ご迷惑をおかけしました。港合同・南労会支部からも多く

の組合員が参加、大変お疲れ様でした。

改悪につぐ改悪を重ねる介護保険制度、いったいどうなっていくのか？行政さえ混乱、事業者は振りまわされ、高齢者・利用者・家族は全く理解できないという現状です。ただ、多くの人がジワジワと実感し直面しているのが「ケアマネが利用者の立場にたってくれなくなった」「要介護認定がドンドン厳しくなっている」「サービスを受けることに引け目を感じさせられる」という現実。そんな中で、制度改定の判りやすい説明、政府の狙いは何か？を知り、

私たちはどうしていったらいいのか？を考える集会はとてもタイムリーで「ピフをもらって知った」という介護職・介護事業者の参加が目立ちました。

### 自立支援介護の問題点―

#### 服部万里子さん講演

特別講演は日本ケアマネジメント学会副理事長の服部万里子さん。テーマは「介護保険改定―自立支援介護の問題点とこれからの介護」。内容をかいつまんで紹介します。◆介護保険は始めから赤字が続いてきたが〇六年の改定以降、老人福祉―つまり国の財源でやってきたことを介護保険に移

しかえた。十四年の医療介護一括法で「地域包括ケアシステム」を制度化して以降は病院からの追い出し、在宅介護へという流れが前面に出てきた。

◆今回の改定で「保険者機能の強化」として、国が市町村の介護保険計画実施の実績を評価し、交付金を出す制度が導入された。国が交付金によって市町村を操作し、「自立支援・重度化防止」という名目でサービス利用の制限など、介護保険を規制していく。

◆介護保険サービス利用者の七五%が八〇歳以上、半分以上が八五歳以上。国が「自立支援介護」と



左から講演者・服部万里子さん、中尾さおりさん、Nさん、新崎さん、日下部さん

自立だけを評価する方向は問題。介護保険の利用を制限し自費利用を拡大すると介護事業所の経営を圧迫し、介護職の採用を困難にし、介護離職を増加する悪循環になる。  
◆国は二〇四〇年にむけ「全世代型の社会保障」として憲法二五条の保障する社会保障の理念と制度をこわし新たな保険制

度に変えようとしている。

### 各現場から質問と報告

講演の後、大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長でケアマネの日下部雅喜さん（コーディネーター）と三人が登壇、質問と報告をしました。

◆西成区で訪問ヘルパーをしている中尾さんは

「十月から生活援助サービスを多く位置付けたケアプランを市に届け出ることが義務化される。今でも報酬にならない業務が多いのにこれ以上サービスを削られると在宅生活ができなくなる。どうしたらいいの？」

◆大阪市の要介護認定問

題について、現役の認定

委員・Nさんは「今の認定委員会はコンピューターによる一時判定の追認機能になり下がっている」と批判。「要介護度が維持・改善されると国の評価が上がる指標があると聞くが、市町村が国からもらえる交付金に関係するので要介護認定が厳しくなるのでは？」

◆大阪府大東市議の新崎

さんは、大東市による「自立支援」を名目にしたサービス「卒業」強制により半年で要支援1から要介護5に悪化し寝たきりになった高齢者の生々しい実態を報告。

◆日下部さんは「ケアプ

ランへの干渉・点検での締め付けなど、市町村によるケアマネジャーに対する関わりが強くなりそう。何が求められるのか」と質問。

服部さんは「ケアプランはその人がどういう状況であれば生活を継続できるのか、どういう生き方をしたいのかを考え、その人に向き合って作るもの。専門職としての義務をもって頑張る欲しい」と訴えた。

### 行動提起

最後の締めは行動提起。国に対して共同して要求・交渉を。

◆各自自治体に共同して働



会場のエルおおさかに介護職、労働組合や市民団体の皆さんが沢山かけつけてくれました。

きかけよう。  
◆介護の切り捨てを許さ  
ず「総がかり行動」を発  
展させよう―各地域で利  
用者・家族、介護事業者、  
介護労働者交流をすすめ  
よう、この秋の行動を成  
功させよう。  
以上

## 厚労省交渉へ

行動提起を受け、この  
間、介護ウエーブ（共同  
で駅頭宣伝活動）、介護  
なんでも電話相談、起ち  
あがる介護労働者交流会  
等に取り組んできました。

十一月十九日には東京  
の介護職・労働組合の皆  
さんと共同で厚生労働省  
交渉を行います。交渉の  
重点は「介護労働者の労  
働条件の改善」。賛同と  
注目をお願いします。

九月十九日 午後一時  
衆議院第二議員会館に  
て  
紹介議員は大坂選出・  
尾辻かなこさんです。

南労会支部 ○

## 南労会支部定期大会

12月15日(土) 午後1時  
NPOみなと合同ケアセンターで

第二部 DVD上映と講演

午後3時15分～

場所：田中機械ホール

ハンセン病問題を理解するために  
ハンセン病回復者と支援者から  
直接、お話を伺います。

南労会支部組合員以外の方も、  
関心のある方、ぜひご参加下さい。

第三部 交流会&忘年会

場所：レストラン「地底旅行」

## とめよう！戦争へ道

### めざそう！アジアの平和 2018関西のつどい

今年もエルシアターを満杯にして開催されました。  
稲嶺進前名護市長とヘリ基地反対協の安次富浩さんが  
沖縄からかけつけ、玉城デニーさんが過去最高得  
票数で圧勝した知事選について、勝利感溢れる報告  
をされました。国は直ちに名護新基地建設の工事を  
再開する暴挙に。しかし「勝つまであきらめない。日本  
の問題として闘おう。」「佐賀、横田と連携してオスプ  
レイを日本全国からアメリカに持って帰れという闘い  
を作ろう」と訴えました。

川崎哲さんが核兵器禁止条約について講演。核抑  
止論が如何に誤っているか、映像をフندانに使い説  
得力ある内容でした。一人一人が考え行動することで  
核兵器と戦争をなくせる！と力強く確信をもって訴え  
ました。韓国全北地域から民主労総の労働者も参加、  
連帯の挨拶を受けました。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！